

平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月13日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
 コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 岡崎 栄一 TEL 06-6262-9221
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 平成29年11月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	2,443	5.1	142	39.4	145	45.3	153	63.6
29年2月期第2四半期	2,325	△11.7	102	467.3	99	484.4	93	100.6

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 144百万円 (33.1%) 29年2月期第2四半期 108百万円 (139.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	18.34	—
29年2月期第2四半期	11.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	2,424	1,872	77.2	224.05
29年2月期	2,143	1,752	81.8	209.73

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 1,872百万円 29年2月期 1,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	2.50	—	3.00	5.50
30年2月期	—	3.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	4.7	80	△30.1	80	△32.7	200	△37.3	23.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期2Q	8,490,103株	29年2月期	8,490,103株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	134,638株	29年2月期	134,638株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期2Q	8,355,465株	29年2月期2Q	8,350,559株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調となりましたが、米国の政策運営や近隣国との政治的緊張関係等の影響による世界経済の不確実性の懸念など、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような状況のもとで、当社グループは各事業部門とも業績向上に邁進いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,443百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は142百万円（前年同期比39.4%増）、経常利益は145百万円（前年同期比45.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益29百万円を特別利益に計上したこともあり153百万円（前年同期比63.6%増）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業におきましては、「星のカービィ」「ドラえもん」等の定番キャラクターが引き続き好調に推移したことに加え、伸縮性の高い生地を使用したクッションや柔軟な素材の食品サンプル等、キャラクター以外の売上も伸長しましたが、前期好調であった主力キャラクターの落ち込みをカバーするまでに至らず、売上高1,501百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益99百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業におきましては、一部定番キャラクターの販売は苦戦しましたが、引き続き「ポケットモンスター」「星のカービィ」といったゲーム関連キャラクターの販売が好調であったことやオリジナルの「もちもちマスコット」シリーズの展開が引き続き好調に推移し、アニメキャラクター専門店等への販売が大幅に伸長いたしました。また前述の「もちもちマスコット」シリーズの増販のほか当社オリジナルキャラクターの「忠犬もちしば」の物販展開が本格的に始動したことなどから商品採算性が向上し、売上高941百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益43百万円（前年同期は23百万円の営業損失）と大きく改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて281百万円増加し、2,424百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少額91百万円、投資有価証券の減少額17百万円により一部相殺されたものの、受取手形及び売掛金の増加額364百万円、商品の増加額16百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて161百万円増加し、552百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額121百万円、流動負債のその他の増加額42百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて119百万円増加し、1,872百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額128百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて91百万円減少し、1,053百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、90百万円（前年同期は183百万円の獲得）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益174百万円、仕入債務の増加額118百万円により一部相殺されたものの、売上債権の増加額369百万円があったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、25百万円（前年同期は14百万円の使用）となりました。

これは主に、投資有価証券の売却による収入36百万円があったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、25百万円（前年同期は719百万円の使用）となりました。

これは主に、配当金の支払額24百万円があったこと等を反映したものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,144,229	1,053,204
受取手形及び売掛金	412,855	777,559
電子記録債権	89,360	94,419
商品	151,822	168,104
その他	71,171	82,453
貸倒引当金	△2,415	△4,117
流動資産合計	1,867,023	2,171,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,089	56,089
減価償却累計額	△47,350	△48,948
建物及び構築物（純額）	8,738	7,140
車両運搬具	3,450	3,450
減価償却累計額	△2,964	△3,069
車両運搬具（純額）	486	381
その他	149,005	155,261
減価償却累計額	△134,587	△137,790
その他（純額）	14,418	17,470
土地	96,798	96,798
有形固定資産合計	120,441	121,790
無形固定資産		
投資その他の資産	40,999	29,430
投資有価証券	56,879	39,191
退職給付に係る資産	41,178	44,311
その他	34,754	33,705
貸倒引当金	△17,793	△15,219
投資その他の資産合計	115,019	101,988
固定資産合計	276,460	253,209
資産合計	2,143,483	2,424,833

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,873	307,014
未払法人税等	23,943	26,755
繰延税金負債	126	141
賞与引当金	21,150	20,757
役員賞与引当金	5,000	—
その他	85,638	128,314
流動負債合計	321,732	482,982
固定負債		
繰延税金負債	19,550	18,998
役員退職慰労引当金	45,916	—
その他	3,867	50,818
固定負債合計	69,333	69,817
負債合計	391,066	552,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	492,935	492,935
利益剰余金	831,787	959,950
自己株式	△51,405	△51,405
株主資本合計	1,735,314	1,863,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,630	12,947
繰延ヘッジ損益	△4,545	△1,696
為替換算調整勘定	△2,982	△2,694
その他の包括利益累計額合計	17,102	8,555
純資産合計	1,752,417	1,872,033
負債純資産合計	2,143,483	2,424,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	2,325,113	2,443,044
売上原価	1,636,415	1,699,014
売上総利益	688,698	744,029
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	184,384	170,744
賞与引当金繰入額	13,800	20,757
退職給付費用	7,629	4,952
役員退職慰労引当金繰入額	3,189	1,517
荷造運搬費	120,464	131,198
貸倒引当金繰入額	△1,380	1,404
その他	258,039	270,485
販売費及び一般管理費合計	586,125	601,060
営業利益	102,572	142,969
営業外収益		
受取利息	28	2
受取配当金	355	435
受取補償金	2,179	—
賃貸収入	324	1,428
その他	973	264
営業外収益合計	3,861	2,129
営業外費用		
支払利息	1,633	—
為替差損	4,969	25
その他	13	1
営業外費用合計	6,615	26
経常利益	99,818	145,072
特別利益		
固定資産売却益	50	—
投資有価証券売却益	—	29,908
新株予約権戻入益	187	—
特別利益合計	238	29,908
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	100,057	174,980
法人税、住民税及び事業税	7,815	20,793
法人税等調整額	△1,422	957
法人税等合計	6,392	21,751
四半期純利益	93,664	153,229
親会社株主に帰属する四半期純利益	93,664	153,229

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	93,664	153,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,156	△11,683
繰延ヘッジ損益	9,599	2,848
為替換算調整勘定	1,270	287
その他の包括利益合計	15,026	△8,547
四半期包括利益	108,691	144,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,691	144,682
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	100,057	174,980
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,565	△392
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△5,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	320	△45,916
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,495	△871
受取利息及び受取配当金	△384	△437
支払利息	1,633	—
固定資産売却損益 (△は益)	△50	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△29,908
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△47,128	△369,900
たな卸資産の増減額 (△は増加)	62,770	△16,282
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,999	118,536
その他	40,430	102,417
小計	183,586	△72,775
利息及び配当金の受取額	464	437
利息の支払額	△1,446	—
法人税等の支払額	△1,076	△18,558
法人税等の還付額	2,040	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	183,568	△90,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	51	—
有形固定資産の取得による支出	△10,005	△6,408
無形固定資産の取得による支出	△3,075	—
投資有価証券の売却による収入	—	36,233
差入保証金の差入による支出	—	△2,521
その他	△975	△1,829
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,005	25,474
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△700,000	—
自己株式の取得による支出	△53	—
株式の発行による収入	2,294	—
配当金の支払額	△20,798	△24,937
その他	△483	△483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△719,040	△25,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,959	△183
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△552,437	△91,025
現金及び現金同等物の期首残高	1,135,330	1,144,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	582,893	1,053,204

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法
によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,513,310	811,803	2,325,113	—	2,325,113
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,695	7,987	14,683	(14,683)	—
計	1,520,005	819,791	2,339,796	(14,683)	2,325,113
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	125,322	△23,190	102,131	441	102,572

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額441千円は、セグメント間取引消去等であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,501,533	941,510	2,443,044	—	2,443,044
セグメント間の 内部売上高又は振替高	767	1,662	2,429	(2,429)	—
計	1,502,300	943,173	2,445,474	(2,429)	2,443,044
セグメント利益	99,339	43,629	142,969	—	142,969

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。